

二松学舎大学文学部 2026 年度一般選抜の出題の意図

1 国語

現代文については高等学校の「現代の国語」と「言語文化」、古文については「言語文化（古文）」と「古典探究」、漢文については「言語文化（漢文）」と「古典探究」を出題範囲とした。

現代文では、S方式（奨学生選抜型）、A方式（得意科目型）、E方式（英語外部試験利用型）、G方式（現代文重視3科目型・現代文重視2科目型）及びD方式（後期1科目型）では大問を二つ、B方式（前期2科目型）では大問を一つ出題し、漢字の読み書きや内容説明、空所補充、語彙、箇所指摘などの問題を通じて、高等学校で学んだ知識や思考力、判断力、表現力等を測った。

古文では、S方式（奨学生選抜型）及びA方式（得意科目型）において大問を二つ出題し、古文の読みや語意、口語訳空所補充、内容説明などの問題を通じて、高等学校で学んだ知識や思考力、判断力、表現力等を測った。

漢文では、S方式（奨学生選抜型）及びA方式（得意科目型）において大問を二つ出題し、漢詩の知識、漢文の読み、訓点、空所補充、内容説明、語意などの問題を通じて、高等学校で学んだ知識や思考力、判断力、表現力等を測った。

2 英語

高等学校の「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」と「論理表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を出題範囲とした。

S方式（奨学生選抜型）及びA方式（得意科目型）では大問を四つ、B方式（前期2科目型）及びG方式（現代文重視3科目型・現代文重視2科目型）では大問を二つ出題し、読解（語の定義・空所補充・語句整序・英文和訳等）や文法・語彙（空所補修・誤り指摘等）などの問題を通じて、高等学校で学んだ知識や思考力、判断力、表現力等を測った。

3 日本史

高等学校の「日本史探究」を出題範囲とした。

S方式（奨学生選抜型）、A方式（得意科目型）、B方式（前期2科目型）及びG方式（現代文重視3科目型・現代文重視2科目型）で大問を三つ出題し、史料や図版等の資料を用いて、各地域・各時代の歴史事象に関する基礎的な理解や、因果関係や歴史の展開に関する考察などの問題を通じて、高等学校で学んだ知識や思考力、判断力、表現力等を測った。

4 世界史

高等学校の「世界史探究」を出題範囲とした。

S方式（奨学生選抜型）及びA方式（得意科目型）では大問を四つ、B方式（前期2科目型）及びG方式（現代文重視3科目型・現代文重視2科目型）では大問を三つ出題し、史料や図版等の資料を用いて、各地域・各時代の歴史事象に関する基礎的な理解や、因果関係や歴史の展開に関する考察などの問題を通じて、高等学校で学んだ知識や思考力、判断力、表現力等を測った。

二松学舎大学国際政治経済学部 2026 年度一般選抜の出題の意図

●国語

高等学校の「現代の国語」と「言語文化[古文・漢文は除く]」を出題範囲とした。S方式（入試奨学生選抜型）、A方式（得意科目型）、B方式（前期2科目型）、E方式（英語外部試験利用型）、及びD方式（後期1科目型）では大問を二つ出題し、与えられた文章（主に現代における評論文）の読解を通して、その内容を論理的に理解できているかを主に評価した。特に課題文から得られた情報を整理し分析・要約できる能力や、筆者の考えや背景事情を読み解く力を問いた。他にも、漢字の読み書き、語句の辞書的意味、文章構造に関する技術的な知識を問いた。

出題形式はマークシートと短答・記述式問題を併用した。

●英語

高等学校の「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」と「論理表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を出題範囲とした。S方式（入試奨学生選抜型）、A方式（得意科目型）及びD方式（後期1科目型）では大問を六つ、B方式（前期2科目型）では大問を五つ出題し、高等学校までに習った知識や技能に基づき、英語の文章を的確に理解し、その内容を論理的に分析する力をみた。出題される文章は、主に時事的な事柄に関するものを出題した。設問は、文章中で用いられている語彙や文法等の知識を問うもの、その文章の読解力を問うもの、読解に基づいて文章を分析する思考力を問うものからなる。その思考力は、記述式の解答によって測り、内容ばかりでなく日本語の表現力も評価の対象とした。

出題形式はマークシートと記述式問題を併用した。

●日本史

高等学校の「日本史探究」を出題範囲とした。S方式（入試奨学生選抜型）及びA方式（得意科目型）では大問を四つ、B方式（前期2科目型）では大問を二つ出題し、古代から近現代にかけての標準的な学力を問いた。単に用語、人名、年号の知識だけではなく、それぞれの時代において重要な歴史的出来事の背景や影響等をきちんと理解できているかを評価した。

出題形式は、S方式（入試奨学生選抜型）及びA方式（得意科目型）においては、マークシートのみ、B方式（前期2科目型）においては、マークシートと短答・記述式問題を併用した。

●世界史

高等学校の「世界史探究」を出題範囲とした。S方式（入試奨学生選抜型）及びA方式（得意科目型）では大問を四つ、B方式（前期2科目型）では大問を二つ出題し、教科書レベルの標準的な学力を問いた。単に用語や年号の知識だけではなく、歴史的事象の背景や影響等をきちんと理解できているかも評価した。

出題形式は、S方式（入試奨学生選抜型）及びA方式（得意科目型）においては、マークシートのみ、B方式（前期2科目型）においては、マークシートと短答・記述式問題を併用した。

●公共・政治経済

高等学校の「公共、政治・経済」を出題範囲とした。S方式（入試奨学生選抜型）及びA方式（得意科目型）では大問を四つ、B方式（前期2科目型）では大問を二つ出題し、公共、政治、経済における分野に関する標準的な学力を問いた。各分野の基本的な用語等の習得ができているか、重要な社会的事象が生じた背景や意義を理解できているかを評価した。

出題形式は、S方式（入試奨学生選抜型）及びA方式（得意科目型）においては、マークシートのみ、B方式（前期2科目型）においては、マークシートと短答・記述式問題を併用した。

●数学

高等学校の「数学Ⅰ・数学A」を出題範囲とした。S方式（入試奨学生選抜型）及びA方式（得意科目型）では大問を四つ、B方式（前期2科目型）では大問を三つ出題し、数学Ⅰ・数学Aの教科書の内容にそった標準的な問題を出題し、基礎的な事項の理解度と計算の正確性などを評価した。

出題形式は、S方式（入試奨学生選抜型）及びA方式（得意科目型）においては、マークシートのみ、B方式（前期2科目型）においては、短答・記述式問題を併用した。